

2005年7月：先月の重大ニュース

「クールビズ」開始

地球温暖化防止を目的にした夏の軽装化(愛称・クールビズ)が始まった。旗振り役の環境省では職員のほぼ全員がノーネクタイ姿だった。小泉首相も青のシャツで公邸から登場した。(1日)

容疑者のDNA情報蓄積

警察庁は、全国の警察本部が犯罪捜査のために容疑者から採取し、それぞれ保存しているDNA型情報を8月にもデータベース化することを決めた。犯罪捜査の効率化が進むとみられる。(1日)

EU憲法オランダも反対

欧州連合(EU)憲法条約の賛否を問うオランダの国民投票が実施され、反対が約62%に達し、批准は拒否された。フランスに次ぐ否決で、EU憲法の成立は極めて難しくなった。(1日)

小泉首相 靖国参拝は私的と強調

小泉首相は衆院予算委員会で、靖国神社参拝について「首相の職務ではなく、私の信条から発する参拝に、他の国が干渉すべきではない」と述べ、参拝を私的なものと位置付け、継続する考えを示した。(2日)

教員養成へ専門大学院

実践的な指導力のある教員を養成する「教員専門職大学院」の基本構想が固まった。指導力不足など最近の「教師への不信」に対応するのがねらい。現職教員を対象に授業内容を向上させ、さらに学校運営の中心的な役割を担うための実力を養う。修業年限は2年の方向で、修了者には「教職修士」(仮称)の学位を与える。

2007年4月の開校を予定している。(6日)

レジ袋 07年にも有料化

スーパーやコンビニなどで無料配布されているレジ袋が、有料化される見通しとなった。国が有料化のルールをつくり、業界を指導する。年間300億枚が流通しているといわれるレジ袋の使用を控えさせ、ごみの減量化をねらう。早ければ07年春にも実施される。(10日)

55日間の国会延長議決

通常国会を8月13日まで55日間延長する議決案が、衆院本会議で自民、公明両党の賛成多数で議決された。郵政民営化法案の成立を目指す。(17日)

悪質リフォームで認知症高齢者ら被害 375 件

訪問販売による住宅リフォームをめぐって行政の窓口寄せられた相談が昨年度は全国で計 8694 件あり、このうち認知症(痴呆症)などで判断力が十分ではない人が契約者となった例が少なくとも 375 件、契約額は計約5億 4800 万円にのぼることが国民生活センターのまとめでわかった。(18 日)

日韓首脳、靖国問題で溝埋まらず

小泉首相はソウルの青瓦台(韓国大統領府)で盧武鉉大統領と約2時間会談した。大半を歴史認識をめぐる問題での意見交換に費やした。大統領は首相の靖国神社参拝について再考を促し、新たな追悼施設建設の検討を進めるよう要請。首相は「二度と戦争を起こしてはいけないという気持ちで参拝している」などと語り理解を求めたが、溝は埋まらなかった。(20 日)

『こどもアサヒ週間ダイジェスト』より国内で大きく取り上げられたニュースや教育に関する情報を抜粋して載せています。